

日本歯科色彩学会

『色彩』

NEWS LETTER 第15号

1997年8月1日 発行

事務局 日本歯科色彩学会

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1

廣瀬お茶の水ビル4F

(クインテッセンス出版株式会社)内

TEL 03-5259-0506 FAX 03-5259-0556

発行者 橋口綽徳

(第15号担当：腰原 好, 吉田 隆)

ご挨拶

日本歯科色彩学会長 橋口綽徳

本会の会長を再び拝命し、この会の発展に努力する所存であります。

目前に9月7日(日)第5回日本色彩学会を控えております。信州としてはもっともよい時期であるはずですが、今年のように不順な気候はまったく予測できないむきもありますが、総じて夏の暑さの去ったあとに、山の清澄な空気が入って爽やかさの味わえる季節であります。

今回は特別講演1題、「色はドラマ」高瀬吉雄先生と、シンポジウム2題、「前歯と成形修復材の色彩」、「硬質レジンの理論と実際」に加えて、一般演題17題(ポスターセッション)と多く出揃い、また、ゴルフコンペも用意いたしましたので、気持ちよい山の空気を吸って十分に楽しんでください。

私もこのあたりで初心にかえり、会をまとめよう努力して参りたいと思います。各位におきましてどうぞよろしく非力な私にご協力賜り、会をより大きく発展させるべく方向付けいただきしたいと思います。

生まれてまだ日も浅く、あまり歴史の長い学会とは申せませんが、真理の探究のため、色というもっとも難解な課題を少しでも解明し、多くの人々にわかりやすく、理解をしていただくための努力を日夜していきたいと考えておりま

す。有識者の集合体として誠実に、実験に或いは統計に、理論だてに励んでいただきたいと願っております。

私も会長として会ををまとめ、皆さんの相互理解を深め、相互協力の核ともなればと、念願している次第です。ここにあらためて会員各位のご助力を心からお願いいたします。

今回の4巻1号は、論文と著者名に不一致の問題が生じ、それを正していたため、たいへん発刊が遅れました。会員の方々には申し訳ないと存じます。

いろいろ努力をくださった先生のご努力には敬意を表します。ただし会をまとめ発展させるという観点から私はものをみななければならない立場にあると実感しております。許しがたきところ、正さなければならないところは勿論正さなければなりません。今後も研究者としての矜持を正していきたいと思います。会員の皆様にはこの点よろしくお願ひしたい。それと同時に生まれただけのこの学会を育てていかなければならないという広い視野もおもちいただきたいと思います。

今後ともこの会が発展するよう、皆様のご支援をお願いいたします。

「AIC Color 97 Kyoto (第8回国際色彩学会・京都) に参加して」

日本歯科色彩学会 常任理事 潤田和好

第8回国際色彩学会は平成9年(1997年5月25日から30日まで京都国際会議場において開催された。

開会式に引き続き、平山郁夫氏(日本画家・前東京芸術大学学長)による特別講演が「日本の色と質」と題して行われた。

この他、会期中には、

招待講演5題「動きからの色知覚」、「環境デザインにおける伝統色と地方色」、「異なる形質をもつ遺伝子をもった色覚異常者の視機能」、「色の錯視」、「表面色の測色精度の向上」、

教育演題1題「NCS表色系—理論、開発、応用」、シンポジウム「色の調和とマシビジョン」、①カラーデザイン21—21世紀に色が担うべき役割—。基調講演「—伝統と革新—」。パネルディスカッション「環境色彩(伝統、地域風土、保存、開発、創造、共生)、福祉(設計、評価)、芸術(前衛的実験)、環境心理(色の生理心理的機能)、マーケティング(市場における色のニーズ)。②カラーマネージメントシステム(4人の専門家による講演)。③公開シンポジウム「甦る日本美術」が行われ、米国人を含む7人の専門家が米国と日本で発した日本画保存のピックバンをはじめ、保存の科学、保存における色の美しさ、損傷と修復に関する新知識、日本画の色と西欧のそのの比較、和紙について、古都京都の建築学的美、古代巻物の組織美などについての説明があった。

この他、口頭発表141題、ポスター発表110題があった。

これらのなかで、歯科色彩学のもっとも関連する演題としては、ポスター発表のなかで、①元呑昭夫氏(日本歯科色彩学会常任理事)、片山伊九右衛門氏(日本歯科色彩学会副会長)らによる「歯冠色票体系の修正」。②Bachmann,U氏による「光源の色と物体の色」が行われた。

また、同じく歯科色彩学関連として口頭発表のなかで、①アルゼンチンのLozano,RD氏による「歯の色」と題して発表された。天然氏の唇・頬側面などを測色するハンディな分光測色計(測定径1~2mm)を開発し、その測定法の説明と測色

データの発表がなされた。本装置に関してはわが国の方が進んでいるように思われたが、同じ学問を追求する仲間として、同氏の発表後即座に謝意を表した。同時にわが国の歯科一般臨床医の多くが歯の色を選択する際に今なお不正確なシェードガイドを用いている現状を伝え、氏が今回発表されたような、色を客観的に測定するハンディな装置を用いて、あいまいな肉眼による比色法を改める必要のあることを、われわれは一般臨床医に伝えていきたいと思いますと追加発言を行った。氏は発表後わざわざ小生のところへ来られて、私の追加発言に謝意を表された。また、②Puebla,C氏による「蛍光色はCIE色度図のどこに位置するか」や、③Takamura,K氏による「肌色の好みの色再現と色順応」が行われた。

この他多数の興味ある発表があった。次回の本学会は4年後に米国において開催されるとのことである。

この報告書を終えるにあたって、われわれ日本歯科色彩学会が今後さらに発展するためには、本学会のような参考となる知識が得られる学会や集会に積極的に参加することはおおいに意義があると思われる。



日本歯科色彩学会セミナー参加報告

特別セミナー報告「美は乱調」

明海大学歯学部 片山 直

本学会主催の特別セミナー「ポーセレンクラウンの特別構造」が平成9年6月26日(木)に市ヶ谷の日本歯科技工士会館において行われた。平日にもかかわらず多くの方が参加され、当日の暑さ以上の熱気が会議室にあふれていた。

河野篤先生の総合司会ではじまり、シンポジウム司会の指宿真澄先生より主旨等の説明があった。まず最初のパネラーの伊集院正俊先生は、セシードの症例、透明感のある歯について、オールセラミックスクラウンのお話から、技工において機械>材料>技術の順になっており、材料の進歩などでそれによって技術は影響を受けてくるなどの解説があり、実際のクラウン作製にあたっては透明な層を内部に入れるテクニク的なお話をしていただいた。また桑田正博先生は、形と色についてのお話より始まりポーセレンのピグメントは点状であり歯とは違うとの説明や、透明度を数値にして表現して調整が可能ないようにして作製にあたる方法を述べられた。また、輪郭、色、光沢、透明感な要素についてのコメントなどが司会の指宿先生をとおして述べられた。途中、内部の層構造について計画的に凹凸を作るなど不規則性をつくる場所では「まさに美は乱調」と感想を述べられているようにお二人のパネラーのすばらしい作品とその設計思想などに触れるとともに指宿先生に種々解説していただき、歯科色彩として有意義な講演会であった。

日本歯科色彩学会セミナーに参加して

埼玉歯科技工士専門学校研究科 佐々木武雄

平成9年6月26日、市ヶ谷の日本歯科技工士会館において、日本歯科色彩学会セミナーが「ポーセレン歯冠の層構造・それぞれの厚みと透過性について」というテーマで開催されました。

司会に指宿先生、パネラーに桑田先生、伊集院先生をお迎えし、まず、パネラーの先生方には、それぞれテーマに沿ったスライドによる講演をいただきました。未熟な自分にとっては難しいものでしたが、たいへん興味深い内容でもありました。

技工操作の5大要素である、情報、時間、機械、器財そして技術というものをどのように色調再現に反映させていくか。また、機械的測色法は、歯科の分野については未開拓の状況だが、さまざまな条件に左右されることなく客観的に数値化していく研究がなされている、というお話。そして天然歯とポーセレンの層構造の違いにより、光の拡散、散乱はどのように変わっていくのか、ポーセレンの各層の透明度をコントロールすることでポーセレンに生命感を与えるテクニク、などの内容でした。

さらに質疑応答は、たっぷりと時間をとり、記述式のアンケートによって集められた質問に、各先生が丁寧に答えてくださる、という形で行われました。手を上げてマイクで質問する、という定番の形と違い、基本的なものから専門的なものまで読みきれないほど数多く集まったようで、たいへん充実した質疑応答だと感じました。

私もこのような活発なセミナーに参加でき、たいへん勉強になりました。最後に各先生、執行部の皆さんに感謝の気持ちを表し、稿を閉じさせていただきます。

午後の部

特別講演 13:00~13:50 座長 橋口緯徳
『色はドラマ』 信州大学名誉教授・松本歯科大学理事 高瀬吉雄先生

一般講演 (ポスター) 14:00~14:10 座長 前橋 浩

9. 漂白剤の作用時間が色調, 形態, 硬さにおよぼす影響—人抜去歯における変化—
昭和大保存Ⅱ ○齊藤佳子, 上條徳子, 東光照夫, 鈴木敏光, 久光 久
10. 市販洗口液のヒト抜去歯冠色に及ぼす影響について
明海大保存修復 ○大竹洋子 片山伊九右衛門, 市村 葉, 片山 直

一般講演 (ポスター) 14:15~14:25 座長 天野義和

11. 変色歯の分類
昭和大保存Ⅱ ○松葉浩志, 金 良子, 東光照夫, 鈴木敏光, 久光 久
12. キセノン耐光試験機を使用した各種光重合型レジンの変色について
鶴見大保存Ⅰ ○村上俊成, 桃井保子, 池島 巖, 河野 篤

一般講演 (ポスター) 14:30~14:40 座長 腰原 好

13. 歯科用陶材におけるセメント色の影響について
明海大保存修復 ○市村 葉, 大竹洋子, 片山 直, 片山伊九右衛門
14. 積層比の違いによる前装部硬質レジンの表色について
朝日大総合歯科 ○司馬 超, 利根真貴, 岡 俊男, 倉知正和

一般講演 (ポスター) 14:45~14:55 座長 池島 巖

15. Transparency Interception Control~透明感遮断積層法~
湘南デンタル・テック ○大野淳一
16. 硬質レジンにおける築成量による色彩変化
松本歯大理工 永沢 栄, 小池君司, 高橋重雄
技工 ○坂口賢治, 谷内秀寿*, 宮川 崇*

シンポジウムⅡ 15:00~16:30

- 『硬質レジンの理論と実際』 座長 坂口賢司
—色彩再現のテクニク—デモンストレーション—
1. 「ハイブリッドセラミックス『エステニア®』」
(株)クラレ技工情報サービス主幹 土師幸典先生
2. 『ソリデックス』—その色彩再現
(株)松風 学術二課 小原正夫先生
3. 『アクシス』—その色調コンセプトについて
(株)ジーシー研究所 開発企画課 柴田 力先生

閉会 16:30 次期大会長 河野 篤

第5回 日本歯科色彩学会総会，ならびに学術大会 [総合案内]

1. 親睦ゴルフ会

日 時：平成9年9月6日(土) 8:00スタート

場 所：松本カントリークラブ

(前日はご宿泊してください)

2. 理事会

日 時：平成9年9月6日(土) 16:00~17:00

場 所：松本歯科大学 図書館 2階中会議室

3. 評議員会

日 時：平成9年9月6日(土) 17:00~18:00

場 所：松本歯科大学 図書館 2階大会議室

4. 懇親会

日 時：平成9年9月6日(土) 18:30~20:30

場 所：ホテル中村屋

(図書館からホテル中村屋まではバスを用意します)

参加費：7,000円

5. 総会並びに学術大会

日 時：平成9(1997)年9月7日(日) 9:00~16:30

会 場：松本歯科大学 図書館

〒399-07 長野県塩尻市広丘郷原1780

TEL 0263-52-3100 (代表) TEL 0263-51-2142 (ダイヤルイン)

参加費：事前登録の場合 正会員 5,000円 当日登録の場合 正会員 6,000円

非会員 6,000円 非会員 7,000円

銀行口座；八十二銀行 松本駅前支店

412 (店番号) 普通預金 624-848

第5回日本歯科色彩学会会計 代表者 高橋重雄

6. 交通

○JR中央線 塩尻駅よりタクシーにて約5分

東京—塩尻 JR中央線 特急あずさ 2時間40分

(回数券 4枚綴り 指定席用；18,440円で割安です)

名古屋—塩尻 JR西中央線 特急しなの 約2時間

○航空路 松本空港よりタクシーにて約15分 (約3,000円)

松本空港—大阪 (1日2便)

松本空港—福岡 (1日1便)

松本空港—札幌 (1日1便)

松本空港—広島 (日, 月, 水, 金 各1便)

松本空港—仙台 (火, 木, 土 各1便)

7. 宿泊：日本歯科色彩学会に参加するむねを告げて，電話で予約してください。

塩尻市内 ホテル 中村屋 TEL 0263-52-1300

ホテル あさひ館 TEL 0263-52-0005

(塩尻市内にお泊まりになることをお勧めいたします)

松本市内 ホテル プエナビスタ TEL 0263-37-0111

信州の高原で

ゴルフを楽しみませんか！

第5回日本色彩学会

親睦ゴルフ会開催のお知らせ

日時：9月6日(土)：学会開催日の前日

場所：松本カントリークラブ

〒399 松本市内田 TEL (0263)58-4581~4

4組予約 (ホテル中村屋から車で30分)

プレー代：25,830円 (昼食その他別途)

申込み：松歯大歯科薬理学教室 前橋浩宛

TEL (0263) 51-2102 (直通, FAX同番号)

TEL (0263) 52-3100 (代表)

その他学会事務局でも受け付けます。参加申込みいただいた方にはスタート時間を改めてご連絡しますので申込み時にはお名前と連絡先の住所、電話番号をお知らせください。